

平成23年度 マネジメントレビュー記録

1 報告事項

(1) 環境監査の結果
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年10～11月に、環境監査員14人により、抽出した38カ所を対象に環境監査を実施した。 不適合件数は、重度の不適合1件であり、その他、提案等17件、良い取組90件であった。 新しい環境マネジメントシステム運用後、最初の環境監査であったが、運用状況は概ね良好であった。
(2) エネルギー使用の状況
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度により運営される施設を含む全市有施設を対象にエネルギー使用状況について把握した。 使用状況は、目標：前年度比1%減（原油換算）に対して、実績：前年度比5.2%減（原油換算）と目標を達成した。達成要因として、夏季を中心とした節電対策が大きいと考えられる。
(3) 指標・目標値の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画関連事業に係る指標について、目標値：142項目を設定し、達成状況を管理した。 達成状況は、達成：71項目（50%）、未達成：71項目（50%）であった。
(4) 不適合の是正状況
<ul style="list-style-type: none"> 是正対象は、①環境監査での指摘に係るもの、②指標に対する目標値の未達成、の2種類に大別される。 ①環境監査での指摘1件については、是正措置が完了している。 ②指標に対する目標値の未達成項目（71件）については、適正に対応するよう指示するとともに、是正結果が第二次長野市環境基本計画の推進につながるよう考慮していく。
(5) 前回までの「マネジメントレビュー」への対応
<ul style="list-style-type: none"> 新たな環境マネジメントシステムへの移行に関して、説明会及び職場研修等により内容を周知することでシステムの定着を図り、適切な運用となるよう取り組んだ。 新しい環境マネジメントシステムの運用開始により、難解な用語の平易化、重複事務の解消、各種調査の簡素化等の効果を得ることができたほか、事務事業評価への環境の視点の追加、公共工事に係る環境配慮の拡大等を併せて実施することで、環境に配慮した事務事業の実施に取り組んだ。 エネルギー使用量については、全市有施設を対象に把握し、確実に削減した。 環境監査の簡素化、効率化を図り、適正に実施し、環境マネジメントシステムの質の保持に配慮した。

2 改善のための提案

<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境マネジメントシステムの適切な運用に向け、管理職研修及び職場研修を積極的に実施し、庁内における周知、職員に対する内容の浸透を徹底する。 環境監査の実施に当たり、今後も外部組織に相互内部環境監査員の参加を依頼し、監査の質の向上を図る。 再生可能エネルギーの研究開発の動向や利活用に関する調査・研究を進めるとともに、省エネに向け、デマンド監視装置を72施設に導入する等の取組を進め、更なるエネルギーの適正使用の推進を図る。

3 マネジメントレビュー（市長による見直し指示）

記録作成 平成24年5月28日

<ul style="list-style-type: none"> 新たな環境マネジメントシステムについて、今後も運用を維持するだけでなく、継続的な改善に努め、効率的な管理体制を目指すこと。 環境マネジメントシステムに掲げる平成24年度の目標値達成に向けた施策を推進し、第二次長野市環境基本計画の着実な実行を確保すること。 再生可能エネルギーの利活用等に関する最新技術の調査・研究を進め、本市への導入を検討するとともに、普及促進のシステムの構築その他の取組を引続き推進すること。 エネルギー使用量を平成23年度比同量以下（平成22年度比5%削減）に抑制すること。
--

署名

